

# 竹パウダーの使い方

＝畑で栽培＝

## ◎土の中にすきこむ場合

- ① 畑に作物の完熟堆肥を散布する。
- ② トラクター等で良く耕耘させる。
- ③ 油かす等の肥料を散布する。
- ④ 竹パウダーを均一に散布する。
- ⑤ 散布後散布した部分を良く耕耘する。
- ⑥ 耕耘後 1 週間程度後に苗を移植(または、種蒔き)をする。



乳酸菌入り土壌改良剤  
の里★青竹パウダー  
※堆肥、油かすと併用して均一に散布  
450g 300円  
◎土の中にすきこむ  
基本：150g/1坪  
夏野菜：100kg/1反  
冬野菜：50kg/1反  
合同会社竹取物語  
千葉県印旛郡栄町安食 321-2

## ※野菜栽培においては肥料との併用も可能です

### ◎苗木植え付け時：

苗木の高さの 2 倍円型外に 30～50g/m<sup>2</sup>を鋤き込みます。

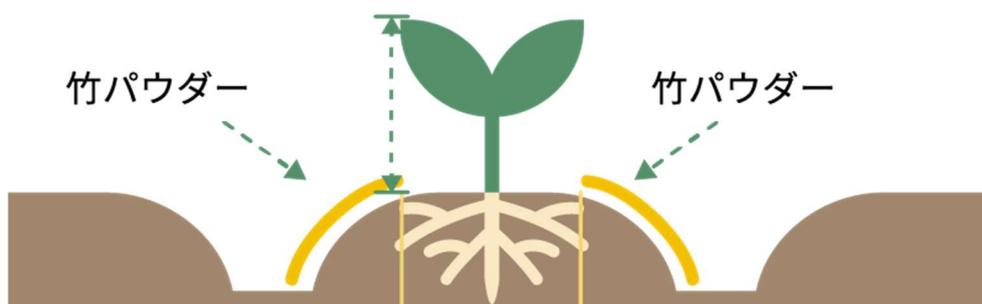
### ◎追加散布の場合：

竹パウダーを表面に散布後、土等を覆土する。

土及び堆肥、ぼかし肥料に竹パウダーを混合し散布する。

## ◎土にそのまま覆う場合

苗の高さと同じぐらいに苗の周りとの間隔をあけて竹パウダーを撒いてください。  
覆えるようにしっかり均等に撒くよう気をつけてください。



# 竹パウダーの 使い方

＝花壇で栽培＝

\* 花壇にも使用できます。

- ① 竹パウダーを均一に散布する。
- ② 土によく混ぜ込む。
- ③ 1週間程度してから、苗を植えつける。

\* すでに植えている場合

根元をさけて、竹パウダーを  
パラパラと蒔いてください。

＝プランターや鉢で栽培＝

プランターや鉢で栽培する際は土に対して、  
写真のように竹パウダーを1割程度混ぜて  
ご使用ください。



観葉植物:

根の周辺に下の土がうっすら見えなく  
なる程度に散布します。

パウダー入りの効果  
試してみました・・・!



そうなのよ!!  
なんで? なんで?      左右の生育が違うのか!?

不思議に思い・・・      パウダー無しと、入れたことに  
気が付きました。      ビックリでした。  
なんの為の実験なのか・・・忘れていたのです。

## 【青竹パウダーの鶏糞との併用する場合の適量】

結論：青竹パウダーと鶏糞を混ぜて使う場合の適正量は、鶏糞を強めすぎないように「鶏糞 3: 青竹パウダー7」程度の比率が目安で、1 m<sup>2</sup>あたり 2~3kg 前後が安全な施用量です。

### ● 詳細解説

#### 1. 鶏糞の特徴

- ・ 窒素・リン酸・カリが豊富で即効性が高い
- ・ ただし 塩分濃度やアンモニアが強く、肥料焼けのリスクがある
- ・ 単独で大量に使うと土壌バランスが崩れやすい

#### 2. 青竹パウダーの特徴

- ・ 炭素率が高く、土壌改良材として有機物を補給
- ・ 鶏糞の強い肥効を緩和し、土をふかふかにする効果がある
- ・ 分解がゆるやかで、微生物活動を促進する

#### 3. 適正な混合比率

- ・ 一般的に 牛糞:鶏糞=7:3 がバランス良いとされる
- ・ 青竹パウダーは牛糞と同じく「緩効性・土壌改良材」として働くため、青竹パウダー7:鶏糞3が目安

- ・ この比率なら、鶏糞の即効性と青竹の緩効性がバランスする

#### 4. 施用量の目安

- ・ 1 m<sup>2</sup>あたり 2~3kg が一般的な安全量
- ・ 作物別の調整例:
  - ・ 葉物野菜 → 鶏糞をやや多め(比率 4:6)
  - ・ 根菜類 → 青竹パウダーを多め(比率 8:2)
  - ・ 果樹 → 青竹主体で鶏糞は控えめ(比率 9:1~7:3)

#### 5. 使用時の注意点

- ・ 必ず完熟堆肥を使用(未熟だとガス害や根傷みの原因)
- ・ 混合後は 2~3 週間寝かせてから施用
- ・ 植え付けの 2~3 週間前に土に混ぜ込むのが理想
- ・ 追肥時は根に直接触れないようにする

まとめると、青竹パウダーと鶏糞は「青竹 7: 鶏糞 3」比率・1 m<sup>2</sup>あたり 2~3kg 前後 が適正量。作物や土壌状態に応じて微調整し、必ず完熟させてから使うのが安全です。

湧長さんのようにリスク管理を重視するなら、まずは少量から試して土壌診断や作物の反応を見ながら調整するのが最も安心ですね。